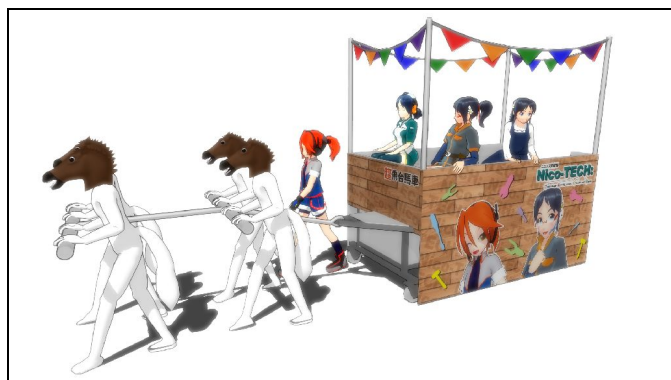


# 超乗合馬車 スタッフマニュアル

2013/04/22 版

## [1] 運用スタッフ

御者(運転手) 1名 (控え 4名程度)  
馬(引き手) 2~4名 (控え 4名程度)  
随伴員(助手) 1名 (控え 2名程度)  
受付(マネージャー) 2名

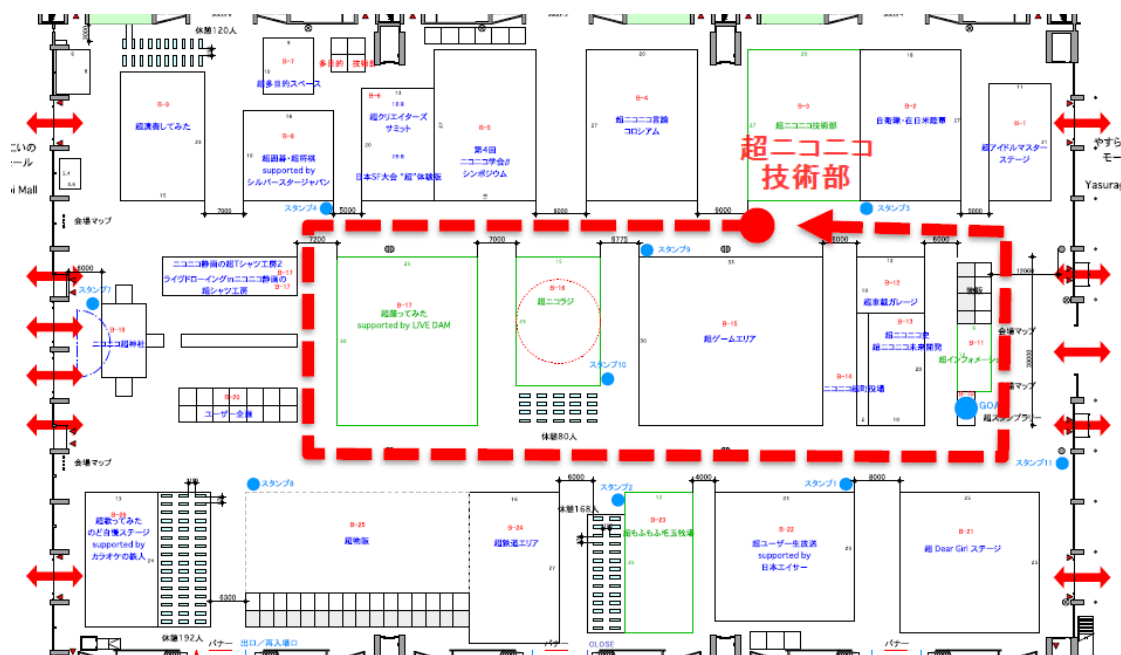


## [2] 馬車運用の概要

両日とも 10 時 30 分より閉会時刻まで、随時運行する。

コースは 4~6 ホールのメイン通路を周回する。時速 3km で 1 周数分程度の見込み。

1 便で 1 周が基本だが、チャーター便などで時間が余り、物足りない感じなら 2 周以上してもよい。運行密度は毎時 3~6 便程度。混雑状況などにらみながら弾力的に運行する。コースは変更する可能性がある。



駅(停留所)は一箇所、「超ニコニコ技術部」前。

馬車は**チャーター利用が基本**である。希望者は事前もしくは当日、受付にチャーターを申し込み、便を予約する。あまった時間に一般遊覧、および馬の慰労遊覧を行う。運賃はすべて無料。

運用の基本理念は、**安全第一、チャーター便を正確に運行しつつ、それ以外の時間もなるべく多く、臨機応変に馬車を使って、より多くの来場者を楽しませることにある。**

利用者からのリクエストにはできるだけ対応したい。ノーと言わない心構えである。

コース周回時間や混雑状況、客さばきなど、実際にやってみないとわからないことばかりだが、「不可能を可能にする」「ないものは作る」の技術部魂で取り組みたい。

### [3] 駅での作業

駅はバス停のような標識、受付のテーブルとホワイトボードがある。テーブル上にはシフト表、筆記具、ポストイット、充電器、予備バッテリー、呼び込み用のメガホン等がある。

受付係、控えの御者と馬、乗車を待つ乗客、チャーターを申し込む客が集まる。

受付は客の対応をおこなう。

御者は馬車を点検する。また、受付テーブルの隅でバッテリーを充電する。

スタッフは受付の監督のもと、シフト表に自分の働く時間帯を記入する。

### [4] 受付の仕事

受付は本プロジェクトの要にあたり、仕事は多岐にわたる。乗合馬車のマネージャーであり、営業であり、駅員でもある。誰に対してもフレンドリーに対応し、たたみかける混乱と笑顔で戦ってほしい。

#### [4-1] 馬車の運行管理

1. ホワイトボードのスケジュール表に応じて、馬車を走らせる。
2. 便の出発が近づいたら乗客を確認し、待機させる。
3. シフト表にそったスタッフが揃っているかどうか確認し、不足があればやりくりする。
4. 便名表示板(20cm×60cmの白いプラスチック板)にアルコール系油性マーカーで便名を記入し、馬車が戻ったらぶら下げる。字を消すときはアルコールをふくませた布で拭く。
5. 便名表示板は2セットあるので、次の便で使うものを用意しておく。
6. 客の依頼があれば馬車にポスターを貼るなどの作業を手伝う。

## [4-2] チャーター受付

客「馬車をチャーターしたいんですが」

受付「チャーター便では馬車の上から何かアピールしてもらってます。どんなアピールをしますか？」

CDの宣伝やコスプレを見せるだけでも、アピールとして充分である。

妥当な内容なら話を進める。できるだけ希望に沿い、無理を聞くこと。技術部スペースで解決できることなら解決する。無理なら無理と伝える。

スケジュール表をにらみ、時刻、人数、便名を決め、記入する。

「出発5分前にはここに来てください。時間厳守でお願いしますね」と言い添え、相談を終える。

チャーター便は相互に20分程度の間隔をおくこと。

チャーター便は3人以上のグループ利用が望ましい。たとえばコスプレイヤーが1人でチャーターを希望してきたら「あと二人ぐらい連れてきてもらえませんか」等、交渉してみる。ただし面白そうなら1人でも乗せる。座席は6席だが、最大8名まで許してよい。

## [4-3] チャーター営業

チャーター申し込みが少ない場合は、受付の一人が場内からスカウトしてまわる。コスプレイヤー、馬車上で展示できそうな作品と作者、パフォーマーなどを見つけて声をかけ、受付に案内する。

## [4-4] 遊覧走行

客「馬車に乗りたいんですが」

受付「チャーター予約をしてもらうのが基本です。チャーター便がないときは臨時に遊覧走行しますが、予約はできません。その場でランダムに乗客を決めてお乗せします」

このような問い合わせが頻出すると思われる。まずチャーター予約を持ちかけ、客がそれを望まないなら遊覧走行もあると伝える。遊覧走行の客はアピールしなくてもよい。ただ乗っているだけである。客が楽なぶん、扱いはチャーター便より低くなる。

遊覧乗車のチャンスを待つ待機列は、なるべく作らせないようにする。待つ人がいたら、ランダムに選ぶので、先に来て並んでいても意味がないことを伝える。

馬車が駐車場で待機しており、15分以内にチャーター予約がなければ、周囲に声をかけて遊覧走行を行う。

受付(大声で)「ただいまより遊覧走行を行います。馬車に乗りたい方はこちらに集まってください。乗れるのは6人までです」

7人以上集まったら受付 vs 集まった人全員でじゃんけんをして削る。

## [4-5] 馬の募集と慰労遊覧

馬になる人を常時募る。通行人に呼び掛けたり、乗合馬車に興味を持って受付に来た人に、「馬やってみませんか？ いい思い出になりますし、そんなに重労働じゃないですよ。1時間以上やると馬車に乗れますし」と、甘い言葉で誘ってみる。

馬は30分単位でスケジュールを割り振り、5分前に待機するように伝える。

馬を1時間以上やった人は慰労遊覧の権利を得る。馬の人が仕事を終わったら、慰労遊覧便を決め、スケジュール表に記入する。慰労遊覧便はあらかじめスケジュール表に記入しておき、そこへ落とし込むようにする。「**出発5分前までにここに来てください**」と伝える。

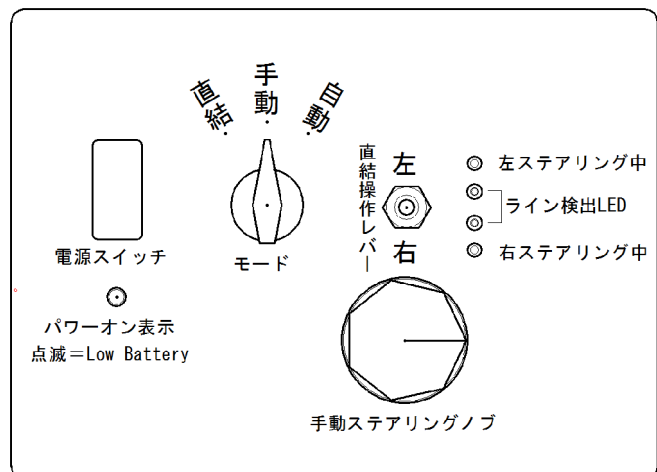
## [5] 御者の仕事

CGや図面と異なり、御者は歩くのではなく、馬車前端に座乗する形になった。

運転練習のため、前日設営(4月26日、14時～18時)への参加が望ましい。前日の運転練習ができなかった者は、当日、御者見習いとして御者の横を歩き、操作を見習う。



1. 支給されたシルクハットをかぶる。似合わなければかぶらなくてもよい。
2. ラダー(階段)を降ろして乗客を乗車させる。乗車が終わったらラダーを上げて固定する。客は着席していることが望ましいが、実際には立っても危険は少ないので、禁止しない。立ってアピールする人には「**急停止することがありますので、そのつもりでお願いします**」と告げる。
3. 運転の心がけは、周囲の歩行者と調和することである。速すぎても遅すぎてもいけない。スケジュールを気にして急いではない。馬車は遅れるものである。
4. 走行中、最重要の仕事はブレーキである。ブレーキは足踏み式に改修される予定。走行中は常に乗客と進路の安全を確認し、障害があればブレーキをかけて停止する。馬が自主的に減速・停止する場合もある。そのときは馬に合わせてブレーキをかける。
5. 馬に号令する。駅からの出発時は「しゅっぱーつ」、前進は「すすめ」、停止は「とまれ」、徐行は「ゆっくり」。コースを外れて自由走行する場合は「右」「左」の号令を使う。
6. 馬車が動き始めたら、手動モードでラインに乗せ、ライン検出LEDが1個以上点灯したら自動モードに切り替える。手動モードでは、手動ステアリングノブの位置に応じたステアリング角が保持される。車のハンドルと同じ。
7. 自動モードでラインレースがうまくいかないときは、手動モードで運転する。自動モードではカーブで



オーバーステアリングの反復になり、うまく曲がれない可能性がある。

8. 制御マイコンが故障したら直結モードで運転する。直結モードはマイコンを使わず、レバーを左右に倒すと、倒している間だけステアリングがその方向に動く。
9. バッテリーが切れたら、予備の小型バッテリーにつなぎかえる。
10. どうしても運転できなくなったら、コンロッドの固定ネジ4本を抜き、前輪を自在キャスター状態にして、馬でステアリングする。蝶ネジなので手で回せる。
11. 駅に戻ったら、1時間おきぐらいに馬車を点検する。ネジ、フレームの打音検査など。1～2時間おきにバッテリーを交換する。使ったバッテリーは充電器に接続する。

## [6] 馬の仕事

馬車は軽い力で動くので、見た目ほど重労働ではない。しかし辛そうな身振りをしながら引くと周囲の哀れを誘っていいかもしれない。

1時間以上馬をやると慰労遊覧の権利が得られる。

1. 支給された馬のかぶりものをかぶる。ヘルメットの上に馬の頭がついているので、顔は露出する。少々汗臭いかもしれないが我慢する。
2. 床に貼った赤いガムテープがコースである。コースに沿い、御者の指示に応じて馬車を引く。速度は周囲の歩行者に合わせる。急ぐ必要はない。駅からの出発時は「しゅっぱーつ」、前進は「すすめ」、停止は「とまれ」、徐行は「ゆっくり」。コースを外れて自由走行する場合は「右」「左」の号令を使う。
3. 前方に障害物や混雑があれば、自分の判断で止まる。他の馬にも気を配りつつ、調和した動きを心がける。



## [7] 随伴員の仕事

随伴員は控えの御者が担当する。

馬車に随伴して歩き、進路の監視、来場者からの問い合わせ対応、御者や馬のサポート、乗客の乗り降りのサポートを行う。



## [8] 馬車の装備

1. バッテリー駆動アンプ Amp-Can 15W ギター&マイクの2系統入力



2. 可搬型電源 SONY CP-S300E AC100V 300W 300Wh



3. プラスチックメガホン(3個)



## [9] 個別ミッション

最新のチャーター予約はWikiを参照のこと> <http://bit.ly/13qbYDu>

### [9-1] 車椅子昇降テスト

今後の運用に備えて、車椅子利用者の乗車が可能かどうかテストする。当日、電動車椅子の来場者に協力してもらったことになった。もしこれが円滑にできたなら、超会議2期間中に、車椅子だけのチャーター便を走らせてみたい。

1. 座席のうち、後部の二つを取り外す。
2. 足場板を2枚、車椅子の幅に合わせて床と馬車後部の間に渡し、落下ないように針金

等で縛る。

3. 馬車のブレーキをかけた状態にする。
4. スロープの左右から各2名、スタッフが車椅子を支えてスロープを登らせる。
5. 乗車できたら、ラダーを紐で仮止めし、希望者4名を乗せて遊覧走行を行う。

## **[9-2] 結婚式チャーター便**

駅を出発してニコニコ神社の鳥居前まで新郎新婦を乗せる。ニコニコ技術部全体で祝福するムードを作りたいので、駅を発車するとき、手すきのスタッフを左右に数名ずつ配置して、御者が「しゅっぱーつ」と言ったらパーティー用クラッカーを放つ。

## **[9-3] ホリエモン・クルーズ**

どうなるかわからないが、現時点ではホリエモンと夏野氏が乗車することになっている。もしニコ技ブースにメイドさんがいれば、共に乗車して車上で飲み物を出すなどのサービスをして、ホリエモンに娑婆に出た喜びを味わってもらいたい。

## **[9-4] ニコニコ兵器開発局 クルーズ**

ニコつく3会場に出展しているニコニコ兵器開発局メンバーの武器(ガンランスなど)と作者を乗車させ、展示走行する。

武器は大きく重いので、混雑が厳しくなければ、ホール7のニコつく3会場付近まで迎えに行き、ホール4~6を一巡して出発地に戻りたい。